

地域拠点校選定の考え方について ～各地域における比較状況と拠点校のイメージ～

(1) 経過・背景

公共施設再編計画にもとづき、各行政地域内の小中学校から 1 校の地域拠点校選定（平成 28 年度選定）の検討を進めています。学校施設は市が保有する建物の総延床面積の約 4 割を占め、公共施設再編計画の 5 つの取組方針の中でも取上げているように、学校施設を拠点とした再編、複合化は公共施設再編を推進し、公共施設の更新等にかかるコストを削減するうえで重要な役割を担うものです。

(2) 地域拠点校について

公共施設再編計画で示している学校施設（地域拠点校）に関する考え方は次のとおりです。

- ・平成 28 年度までに各行政地域の小中学校の中から 1 校（全部で 5 校）を選定します。
- ・選ばれた 5 校は、その学校の建替え等の時期にあわせて整備を進めます。
- ・学校用地を活用して複合化を行います。
- ・教育環境の維持向上や安全性等に配慮した上で進めます。
- ・地域活動の場や多世代が多目的に利用できる多世代交流スペースとして機能を集約化します。
（対象：学習センター、老人福祉センター、図書館等*の機能のうち、各行政地域で必要な機能）
- * 保育園、子育て支援センター、青少年会館及び子ども会館・子どもの家など
- ・多世代が交流できる機能の具体的なあり方を検討します。

選定を行うために、必要と考えられる条件を次のとおり整理しています。

条件	
敷地活用	位置・周辺環境
・容積率等の余裕 （学校施設以外の公共施設の複合化及び緑地等の確保が可能なこと） ・敷地形状、高低差の有無 ・建築基準法の用途地域 （第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域は生涯学習センターが集会場にあたり、利用方法について良好な住居の環境を害するとされる可能性がある） ・借地等の状況	・周辺人口 （徒歩 10 分（0.8km）圏内の学校施設以外の公共施設の利用者の利便性） ・交通至便性 （行政区域内・隣接地から JR 又は湘南モノレールが利用可能） ・周辺道路（主な利用経路が狭あいでないこと） ・周辺への影響（施設規模増による日影、圧迫感等）
安全性	その他
・津波想定浸水範囲 ・土砂災害警戒区域	・築年数 （学校施設、複合化対象施設の建替え時期） （・学区の見直し、統廃合） （今後の長期的検討次第）

（平成 28 年 8 月 31 日時点資料）

(3-1) 鎌倉地域の小中学校と主な公共施設について

鎌倉地域には現在 7 つの小中学校があります。

	学校名	児童・生徒数（人）					学級数（学級）					敷地面積 (㎡)	A: 延床面積 (㎡)	B: 容積率のみ による単純 延床面積限 度（㎡）	A/B: 容積率の みによる 敷地の単 純活用状 況
		現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通 学級)	現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通 学級)				
		全体	普通 学級				全体	普通 学級							
1	第一 小学校	748	730	762 (H32)	751	21	25	21	24 (H32)	23	2	15,224	8,524	約 30,000	約 28%
2	第二 小学校	467	461	449 (H29-31)	409	－52	16	14	13 (H29,31)	12	－2	14,380	5,342	約 9,600	約 56%
3	御成 小学校	561	546	562 (H29)	473	－73	20	17	18 (H29,30)	15	－2	33,197	8,126	約 37,000	約 22%
4	稲村ヶ崎 小学校	215	215	212 (H29)	192	－23	7	7	7 (H29)	6	－1	12,316	4,163	約 6,600	約 63%
5	第一 中学校	224	220	216 (H30)	181	－39	10	8	7 (H29,30)	6	－2	13,036	5,574	約 10,000	約 56%
6	第二 中学校	192	187	194 (H29)	187	0	8	6	6 (H29-33)	6	0	35,711	5,264	約 28,000	約 19%
7	御成 中学校	384	375	378 (H32)	374	－1	14	11	11 (H31 以外)	11	0	26,295	8,350	約 19,000	約 44%
主な公共施設		市役所（S44 築）、中央図書館（S49 築）、福祉センター（H3 築）、鎌倉生涯学習センター（きらら鎌倉・S57 築）、 名越やすらぎセンター（S47 築）、鎌倉はまなみ（H7 築）、由比ガ浜こどもセンター（整備中） など													

※児童・生徒数は H28.5.1 の数値（学級数は標準学級数）、推計は大規模集合住宅の建設等の状況により変動する可能性があります。その他は公共施設再編計画のデータを使用。

※A/B は単純な活用状況であり、活用が困難な敷地部分（歴史的風土特別保存地区、高低差が激しい部分など）や、グラウンド等の充足状況などは考慮したものではありません。

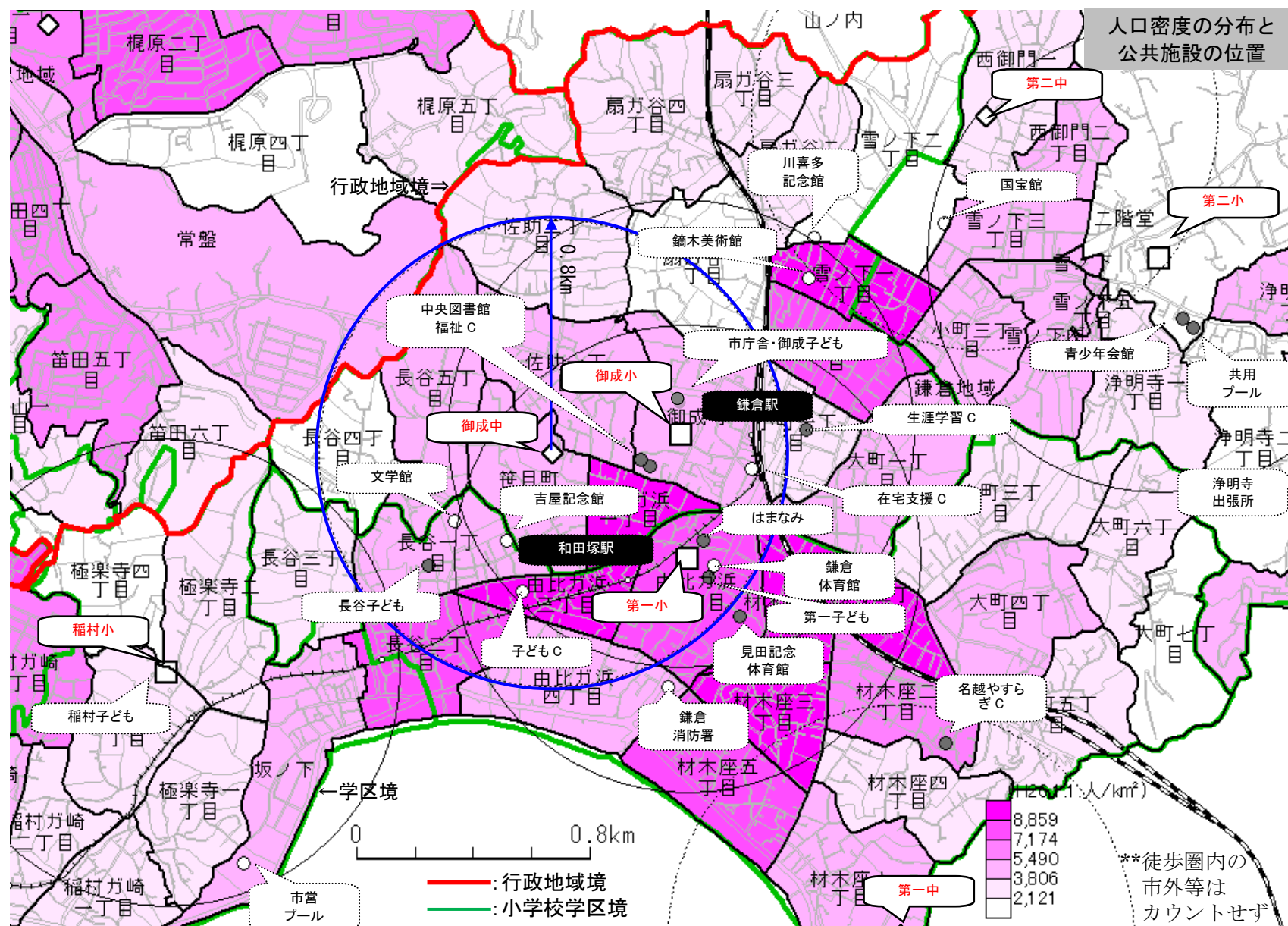
（平成 28 年 8 月 31 日時点資料）

(3-2) 鎌倉地域の拠点校選考の検討について

地域拠点校の候補とする条件や比較条件等を整理している段階での比較です。

		第一小学校	第二小学校	御成小学校	稲村ヶ崎小学校	第一中学校	第二中学校	御成中学校
敷地活用	容積率	余裕あり	余裕あり	余裕あり	余裕なし	余裕少ない	余裕少ない	余裕あり
	敷地形状	ほぼ整形	道路・高低差あり	ほぼ整形	道路あり	ほぼ整形	長方形・高低差あり	ほぼ整形・高低差あり
	用途地域等	一住 200/60, 二住 200/60 景観	一低 80/40, 一中高 100/40 (二種・三種)風致	一中高 150/60 三種風致	一低 80/40 風致・歴風	一低 80/40 風致	一低 80/40 風致・歴風特	一低 80/40 風致
	借地等	なし	なし	なし	約 7,000 ㎡ (約 60%)	なし	なし	なし
利便性	周辺人口	13,000 人**	6,000 人	11,000 人	7,000 人**	3,000 人**	6,000 人	10,000 人
	交通至便性	和田塚駅 約 0.2km	鎌倉駅 約 1.5km	鎌倉駅 約 0.3km	極楽寺駅 約 0.2km	鎌倉駅 約 1.9km	鎌倉駅 約 1.3km	鎌倉駅 約 0.7km
	周辺道路	主な道路への 間口は狭い	県道とは 高低差あり	—	—	—	道路の末端に 立地	—
	周辺影響	住宅隣接あり	住宅地内	少ない	住宅地内だが山 に隣接	住宅地内	住宅地内だが山 に囲まれている	住宅地内だが山 に囲まれている
安全性	津波想定	範囲内	なし	範囲内	なし	なし	なし	なし
	土砂警戒	なし	一部	なし	一部	一部	区域内	一部
その他	代表建築年度	昭和 40 年 (築 51 年)	昭和 42 年 (築 49 年)	平成 10 年 (築 18 年)	昭和 55 年 (築 36 年)	昭和 59 年 (築 32 年)	平成 22 年 (築 6 年)	昭和 41 年 (築 50 年)
備考		・埋蔵文化財包蔵地 ・子ども会館・子どもの家（隣接）が整備して間もない ・鎌倉体育館敷地と隣接 ・既存日影許可	・埋蔵文化財包蔵地 ・敷地を道路が分断している ・既存日影許可	・埋蔵文化財包蔵地 ・築年数が経っておらず、地域拠点校としての更新時期がかなり先になる可能性がある ・現市庁舎等とも近く、昼間人口も多いと考えられる ・市役所敷地と隣接	・埋蔵文化財包蔵地 ・敷地を道路が分断している ・子どもの家暫定設置済 ・既存日影許可	・埋蔵文化財包蔵地 ・市境付近に立地 ・高台に立地	・埋蔵文化財包蔵地 ・築年数が経っておらず、地域拠点校としての更新時期がかなり先になる可能性がある ・道路と敷地にも高低差があり、バリアフリーには不向き	・埋蔵文化財包蔵地 ・現市庁舎等とも近く、昼間人口も多いと考えられる ・高台に立地し、道路と敷地にも高低差があり、バリアフリーには不向き

(平成 28 年 8 月 31 日時点資料)



(平成 28 年 8 月 31 日時点資料)

(4-1) 腰越地域の小中学校と主な公共施設について

腰越地域には現在 4 つの小中学校があります。

	学校名	児童・生徒数（人）					学級数（学級）					敷地面積 (㎡)	A: 延床面積 (㎡)	B: 容積率のみによる単純延床面積限度 (㎡)	A/B: 容積率のみによる敷地の単純活用状況
		現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通 学級)	現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通 学級)				
		全体	普通 学級				全体	普通 学級							
1	腰越 小学校	407	401	405 (H29,31)	363	－38	14	12	12 (H29-33)	12	0	14,266	6,470	約 8,700	約 74%
2	西鎌倉 小学校	665	661	670 (H29)	583	－78	22	20	20 (H30)	18	－2	19,714	7,527	約 38,000	約 20%
3	七里ガ浜 小学校	303	303	310 (H29)	238	－65	11	11	11 (H29)	8	－3	16,464	4,923	約 32,000	約 15%
4	腰越 中学校	352	352	343 (H29)	320	－32	10	10	10 (H29)	9	－1	18,228	6,745	約 32,000	約 21%
主な公共施設		腰越行政センター（H10 築）、腰越老人センター（平成 29 年度供用開始予定）、腰越保育園（S43 築） など													

※児童・生徒数は H28.5.1 の数値（学級数は標準学級数）、推計は大規模集合住宅の建設等の状況により変動する可能性があります。その他は公共施設再編計画のデータを使用。

※腰越小学校の A/B はプール敷地を除いて算定

※A/B は単純な活用状況であり、活用が困難な敷地部分（歴史的風土特別保存地区、高低差が激しい部分など）や、グラウンド等の充足状況などは考慮したものではありません。

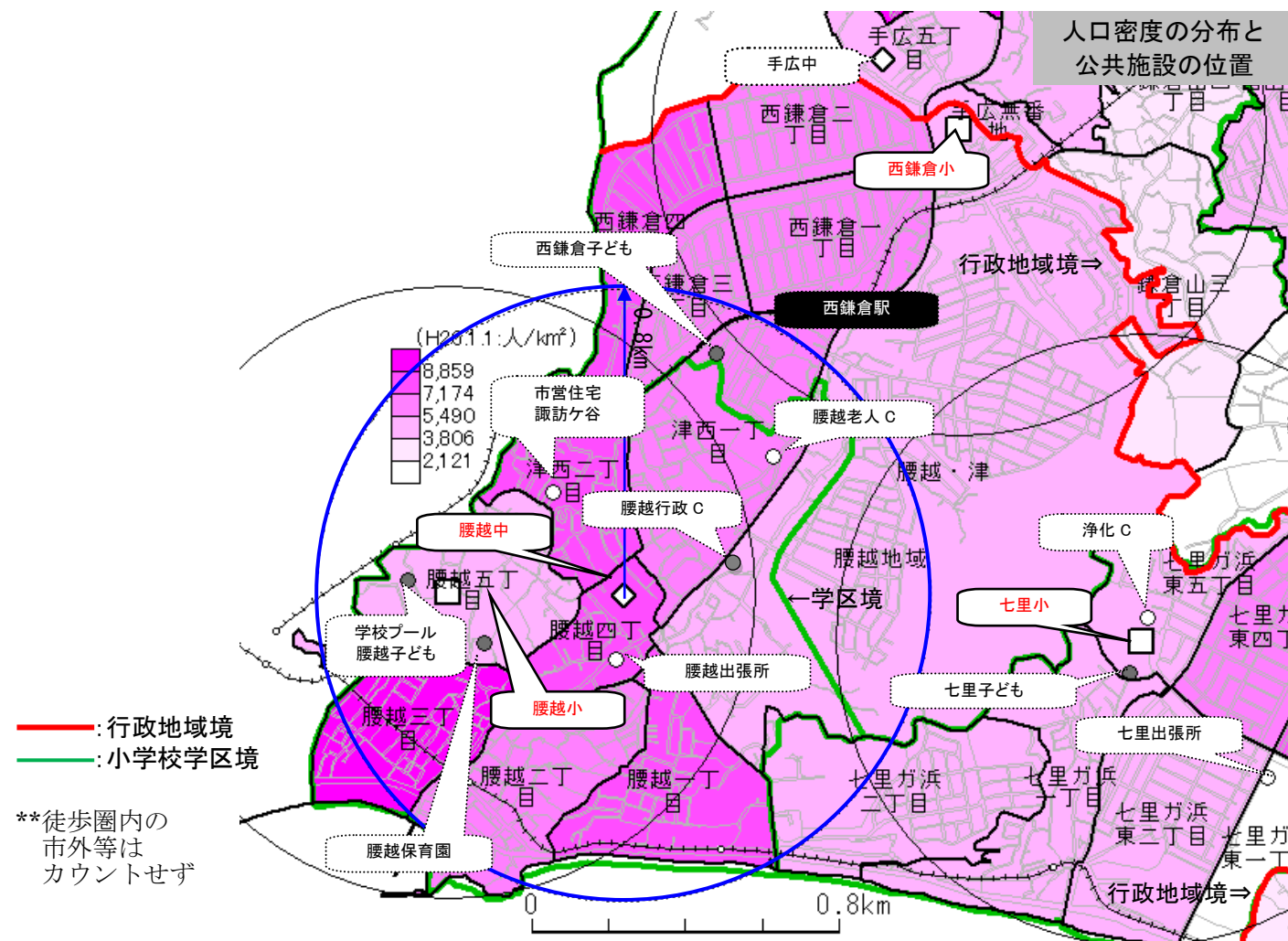
（平成 28 年 8 月 31 日時点資料）

(4-2) 腰越地域の拠点校選考の検討について

地域拠点校の候補とする条件や比較条件等を整理している段階での比較です。

		腰越小学校	西鎌倉小学校	七里ガ浜小学校	腰越中学校
敷地活用	容積率	余裕なし	余裕あり	余裕なし	余裕あり
	敷地形状	やや不整形	ほぼ整形	ほぼ整形	ほぼ整形
	用途地域等	一低 80/40 風致	一住 200/60 三種風地	二住 200/60 三種風致	一住 200/60
	借地等	なし	なし	約 500 m ²	なし
利便性	周辺人口	8,000 人**	10,000 人	9,000 人**	11,000 人**
	交通至便性	目白山下駅 約 0.2km	西鎌倉駅 約 0.6km	七里ガ浜駅 約 0.6km	腰越駅 約 0.6km
	周辺道路	—	—	—	一部県道とも接する
	周辺影響	住宅地内	住宅隣接あり	住宅隣接あり	住宅隣接あり
安全性	津波想定	なし	なし	なし	範囲内
	土砂警戒	一部	なし	一部	なし
その他	代表建築年度	昭和 39 年 (築 52 年)	昭和 48 年 (築 43 年)	昭和 50 年 (築 41 年)	昭和 52 年 (築 39 年)
備考		・既存日影許可 ・市境付近に立地	・行政地域境付近に立地	・子ども会館・子どもの家(隣接)が整備して間もなく、浄化センターと隣接	・埋蔵文化財包蔵地

(平成 28 年 8 月 31 日時点資料)



(平成28年8月31日時点資料)

(5-1) 深沢地域の小中学校と主な公共施設について

深沢地域には現在 5 つの小中学校があります。

	学校名	児童・生徒数（人）					学級数（学級）					敷地面積 (㎡)	A: 延床面積 (㎡)	B: 容積率のみ による単純 延床面積限 度（㎡）	A/B: 容積率の みによる 敷地の単 純活用状 況
		現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通 学級)	現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通 学級)				
		全体	普通 学級				全体	普通 学級							
1	深沢 小学校	838	838	839 (H29)	704	－134	24	24	24 (H29)	20	－4	16,852	8,466	約 31,000	約 27%
2	山崎 小学校	696	696	714 (H30)	691	－5	20	20	22 (H32,33)	22	2	11,948	5,740	約 17,000	約 34%
3	富士塚 小学校	259	242	234 (H29)	228	－14	12	9	8 (H31,33)	8	－1	17,733	7,649	約 27,000	約 28%
4	深沢 中学校	461	454	492 (H33)	492	38	14	12	14 (H33)	14	2	39,399	7,363	約 63,000	約 12%
5	手広 中学校	332	324	303 (H32)	282	－42	11	9	9 (H32)	8	－1	31,829	6,911	約 36,000	約 19%
主な公共施設		深沢行政センター（S55 築）、深沢こどもセンター（深沢保育園 など・H19 築）、教養センター（S56 築）、あおぞら園（S52 築） など													

※児童・生徒数は H28.5.1 の数値（学級数は標準学級数）、推計は大規模集合住宅の建設等の状況により変動する可能性があります。その他は公共施設再編計画のデータを使用。
※A/B は単純な活用状況であり、活用が困難な敷地部分（歴史的風土特別保存地区、高低差が激しい部分など）や、グラウンド等の充足状況などは考慮したものではありません。

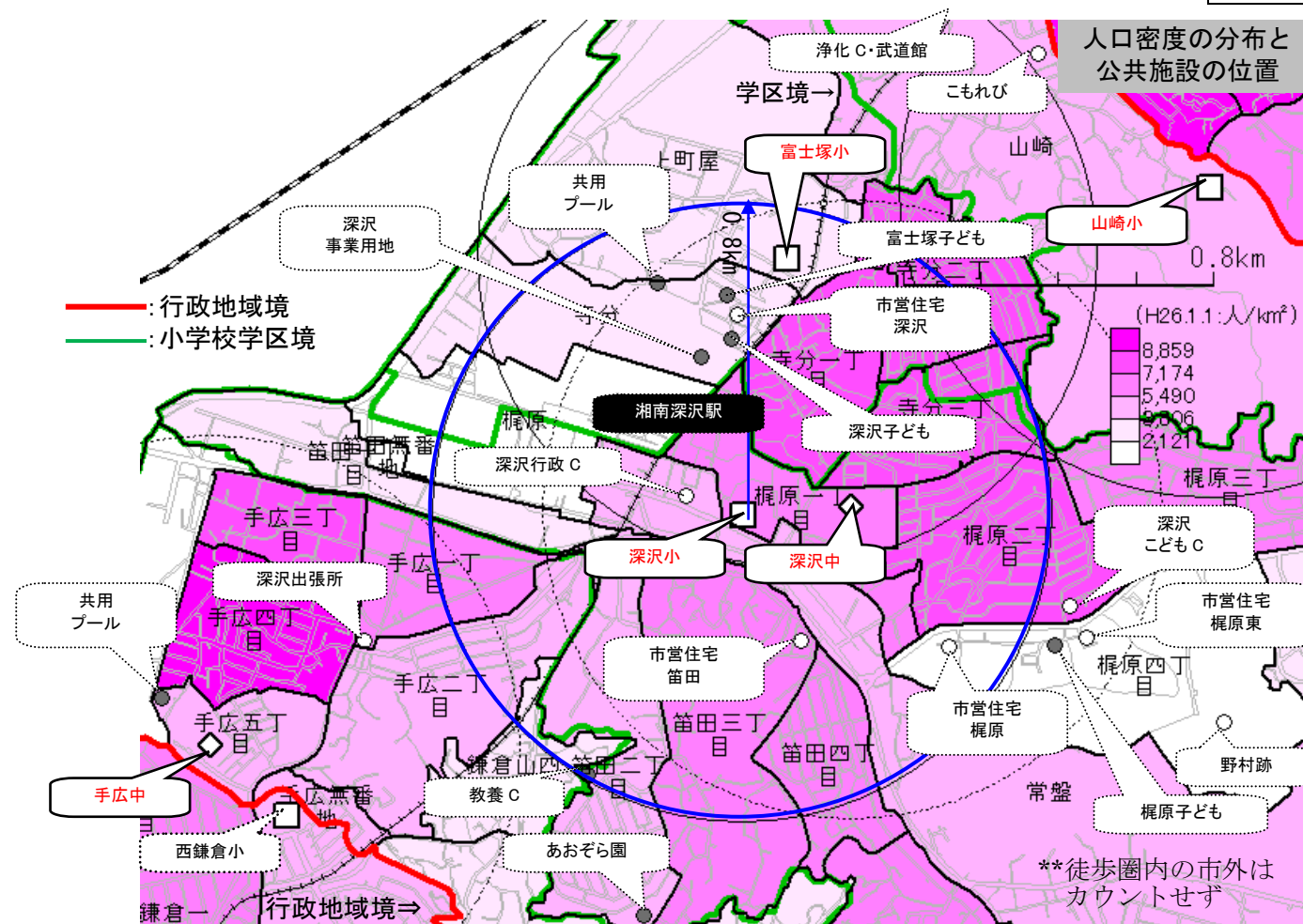
（平成 28 年 8 月 31 日時点資料）

(5-2) 深沢地域の拠点校選考の検討について

地域拠点校の候補とする条件や比較条件等を整理している段階での比較です。

		深沢小学校	山崎小学校	富士塚小学校	深沢中学校	手広中学校
敷地活用	容積率	余裕あり	余裕なし	余裕あり	余裕あり	余裕あり
	敷地形状	ほぼ整形・水路あり	水路・高低差あり	ほぼ整形・高低差あり	ほぼ整形・高低差あり	ほぼ整形・高低差あり (旗竿状)
	用途地域等	一住 200/60	一中高 150/60 高度	一住 200/60	一住 200/60	一中高 150/60, 一住 200/60 高度
	借地等	なし	なし	約 100 m ²	なし	なし
利便性	周辺人口	10,000 人	14,000 人	9,000 人**	11,000 人	9,000 人**
	交通至便性	湘南深沢駅 約 0.3km	富士見町駅 約 0.9km	湘南町屋駅 約 0.2km	湘南深沢駅 約 0.5km	西鎌倉駅 約 0.7km
	周辺道路	—	—	—	—	接する県道への 間口は狭い
	周辺影響	住宅隣接あり	住宅地内だが、山に隣接	少ない	住宅地内	少ない
安全性	津波想定	なし	なし	なし	なし	なし
	土砂警戒	一部	一部	なし	一部	一部
その他	代表建築年度	昭和 44 年 (築 47 年)	昭和 44 年 (築 47 年)	昭和 51 年 (築 40 年)	昭和 40 年 (築 51 年)	昭和 57 年 (築 34 年)
備考		・既存日影許可 ・子どもの家設置済 ・深沢中と近接	・道路と敷地にも高低差がありバリアフリーには不向き ・行政地域境付近に立地	・深沢事業用地が学区内	・深沢小と近接	・西鎌倉小と近接 ・行政地域境付近に立地

(平成 28 年 8 月 31 日時点資料)



(平成 28 年 8 月 31 日時点資料)

(6-1) 大船地域の小中学校と主な公共施設について

大船地域には現在 5 つの小中学校があります。

	学校名	児童・生徒数（人）					学級数（学級）					敷地面積 (㎡)	A: 延床面積 (㎡)	B: 容積率のみによる単純延床面積限度（㎡）	A/B: 容積率のみによる敷地の単純活用状況
		現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通学級)	現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通学級)				
		全体	普通学級				全体	普通学級							
1	小坂 小学校	634	629	624 (H33)	624	－5	20	18	19 (H32,33)	19	1	9,983	6,749	約 15,000	約 45%
2	大船 小学校	470	458	477 (H29,30)	465	7	17	14	15 (H29,30)	14	0	12,718	6,458	約 25,000	約 26%
3	今泉 小学校	423	423	448 (H32)	421	－2	14	14	14 (H30-32)	12	－2	25,038	8,003	約 32,000	約 25%
4	大船 中学校	480	472	516 (H30)	505	33	16	14	15 (H30-33)	15	1	31,476	9,931	約 62,000	約 16%
5	岩瀬 中学校	407	407	443 (H33)	443	36	12	12	12 (H29-33)	12	0	35,886	7,881	約 28,000	約 28%
主な公共施設		大船行政センター（S40 築）、大船保育園（H8 築）、今泉さわやかセンター（S62 築） など													

※児童・生徒数は H28.5.1 の数値（学級数は標準学級数）、推計は大規模集合住宅の建設等の状況により変動する可能性があります。その他は公共施設再編計画のデータを使用。

※小坂小学校の A/B はプール敷地を除いて算定

※A/B は単純な活用状況であり、活用が困難な敷地部分（歴史的風土特別保存地区、高低差が激しい部分など）や、グラウンド等の充足状況などは考慮したものではありません。

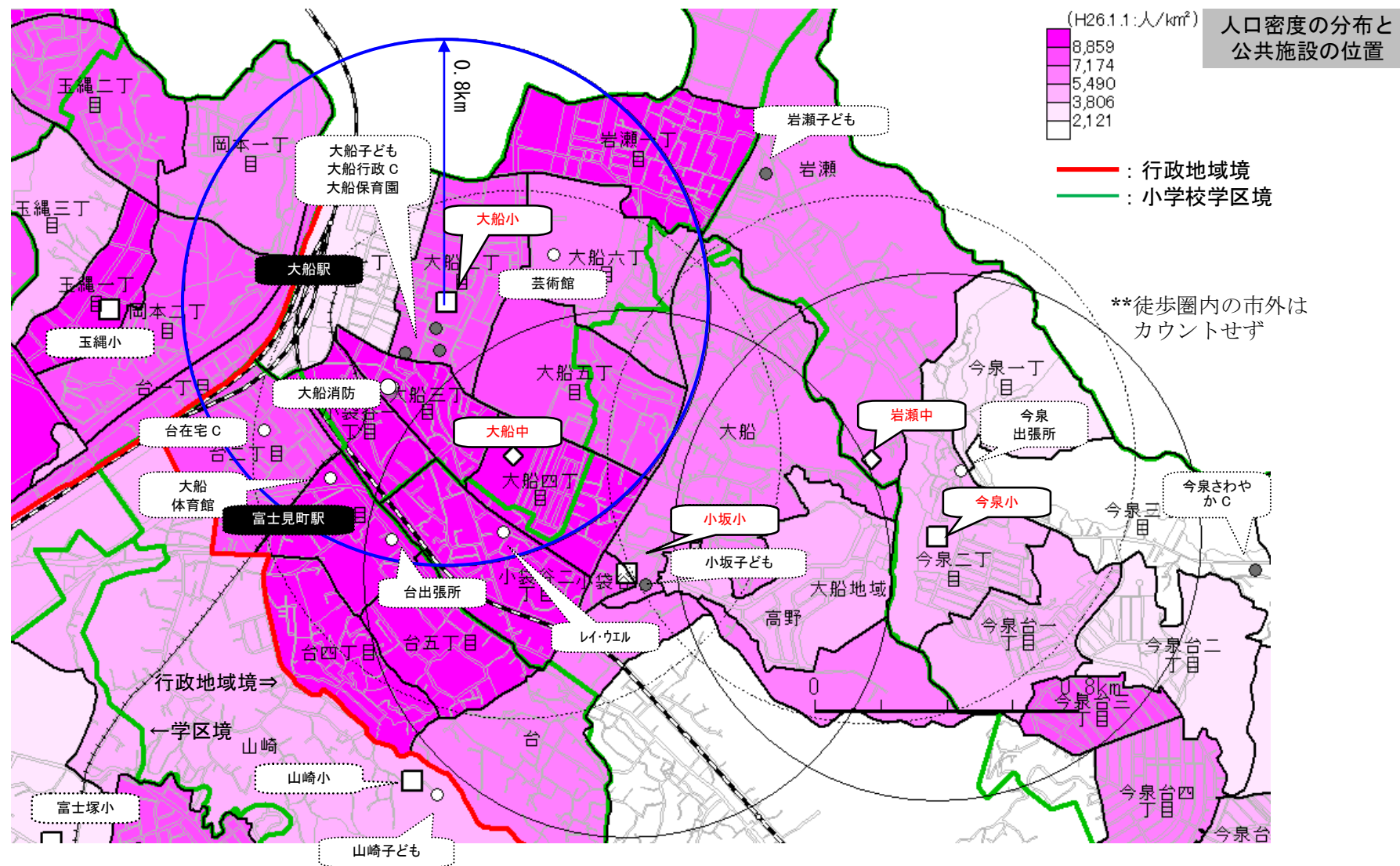
（平成 28 年 8 月 31 日時点資料）

(6-2) 大船地域の拠点校選考の検討について

地域拠点校の候補とする条件や比較条件等を整理している段階ですが、現時点での候補地を比較してみました。

		小坂小学校	大船小学校	今泉小学校	大船中学校	岩瀬中学校
敷地活用	容積率	余裕なし	余裕あり	余裕あり	余裕あり	余裕あり
	敷地形状	長方形	ほぼ整形	高低差あり	ほぼ整形	高低差あり
	用途地域等	一中高 150/60, 二住 200/60, 一低 80/40 高度	二住 200/60	一中高 150/60 三種風致	一中高 200/60 高度	一低 80/40 風致
	借地等	なし	なし	なし	国有地	なし
利便性	周辺人口	15,000 人	15,000 人**	8,000 人**	18,000 人	9,000 人**
	交通至便性	北鎌倉駅 約 1km	大船駅 約 0.5km	大船駅 約 3km	大船駅 約 1km	大船駅 約 2km
	周辺道路	—	狭い道路が多い	—	—	—
	周辺影響	北側の住宅地に対して	住宅地内	少ない	住宅地内だが敷地広い	少ない
安全性	津波想定	なし	なし	なし	なし	なし
	土砂警戒	なし	なし	一部	なし	一部
その他	代表建築年度	昭和 60 年 (築 31 年)	昭和 52 年 (築 39 年)	昭和 46 年 (築 43 年)	平成 28 年 (築 0 年)	昭和 55 年 (築 36 年)
備考		・築年数が経っておらず、地域拠点校としての更新時期がかなり先になる可能性がある ・子ども会館・子どもの家が整備して間もない	・現行政センターや大船保育園と最も近い ・昼間人口も多いと考えられる	・道路と敷地にも高低差があり、バリアフリーには不向き	・国有地の借地にて建替中であり、検討対象外とします	・道路と敷地にも高低差があり、バリアフリーには不向き

(平成 28 年 8 月 31 日時点資料)



(7-1) 玉縄地域の小中学校と主な公共施設について

玉縄地域には現在4つの小中学校があります。

	学校名	児童・生徒数（人）					学級数（学級）					敷地面積 (㎡)	A: 延床面積 (㎡)	B: 容積率のみ による単純 延床面積限 度 (㎡)	A/B: 容積率の みによる 敷地の単 純活用状 況
		現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通 学級)	現況		H29-33 推計 最大値	H33 推計値	H33 推計値 － 現況 (普通 学級)				
		全体	普通 学級				全体	普通 学級							
1	玉縄 小学校	566	555	560 (H29)	481	－74	19	17	18 (H29)	15	－2	14,484	7,173	約 25,000	約 29%
2	関谷 小学校	383	383	380 (H29)	344	－39	12	12	12 (H29-33)	12	0	15,728	5,968	約 32,000	約 19%
3	植木 小学校	312	312	300 (H29)	238	－74	12	12	12 (H29)	9	－3	20,102	5,582	約 32,000	約 17%
4	玉縄 中学校	672	645	590 (H30,32)	553	－92	22	17	16 (H30,32)	15	－2	21,332	7,600	約 40,000	約 19%
主な公共施設		玉縄行政センター（S62 築）、玉縄こどもセンター（岡本保育園 など・H27 築）、玉縄すこやかセンター（S58 築） など													

※児童・生徒数は H28.5.1 の数値（学級数は標準学級数）、推計は大規模集合住宅の建設等の状況により変動する可能性があります。その他は公共施設再編計画のデータを使用。

※A/B は単純な活用状況であり、活用が困難な敷地部分（歴史的風土特別保存地区、高低差が激しい部分など）や、グラウンド等の充足状況などは考慮したものではありません。

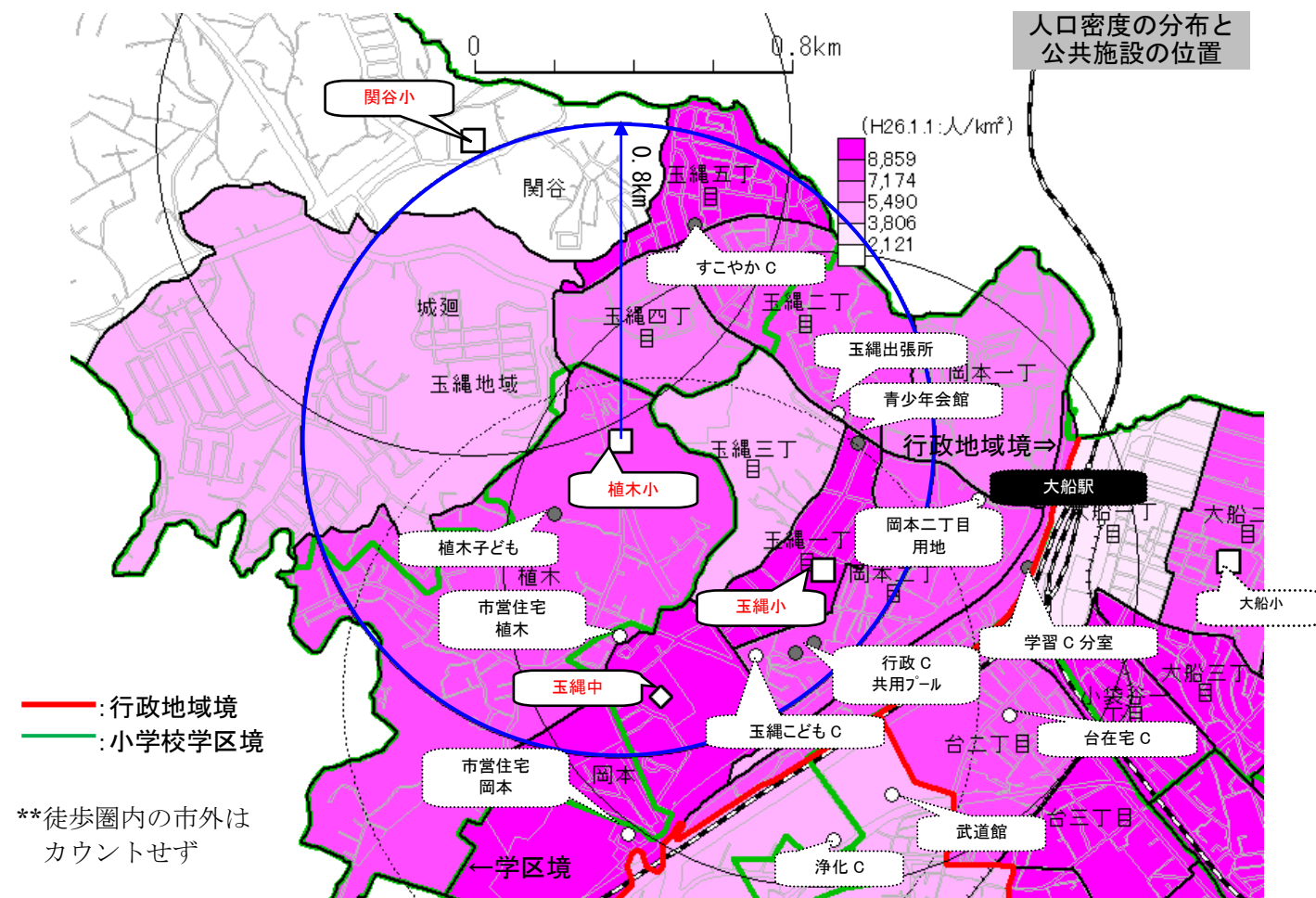
（平成 28 年 8 月 31 日時点資料）

(7-2) 玉縄地域の拠点校選考の検討について

地域拠点校の候補とする条件や比較条件等を整理している段階での比較です。

		玉縄小学校	関谷小学校	植木小学校	玉縄中学校
敷地活用	容積率	余裕あり	余裕あり	余裕あり	余裕あり
	敷地形状	ほぼ整形	ほぼ整形	やや不整形	ほぼ整形
	用途地域等	一中高 200/60 高度	一住 200/60, 準住 200/60	一中高 150//60, 一住 200/60 高度	一住 200/60
	借地等	約 1,500 m ²	なし	なし	なし
利便性	周辺人口	15,000 人**	5,000 人**	14,000 人**	15,000 人**
	交通至便性	大船駅 約 0.7km	大船駅 約 1.8km	大船駅 約 1.2km	大船駅 約 1.1km
	周辺道路	—	一部県道とも接する	—	—
	周辺影響	住宅地内	住宅隣接あり	少ない	共同住宅隣接
安全性	津波想定	なし	なし	なし	なし
	土砂警戒	なし	一部	一部	なし
その他	代表建築年度	昭和 40 年 (築 51 年)	昭和 53 年 (築 38 年)	昭和 59 年 (築 32 年)	昭和 48 年 (築 43 年)
備考		・既存日影許可	・子どもの家設置済 ・県立養護学校隣接 ・市境付近に立地	・一部埋蔵文化財包蔵地 ・道路と敷地にも高低差があり、 バリアフリーには不向き	・県立フラワーセンターに隣接

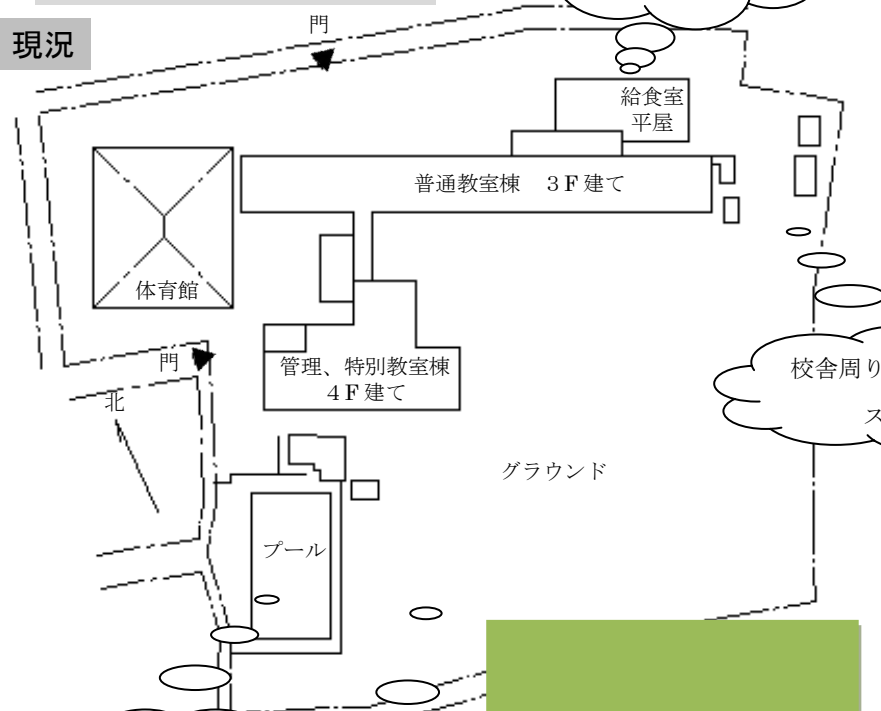
(平成 28 年 8 月 31 日時点資料)



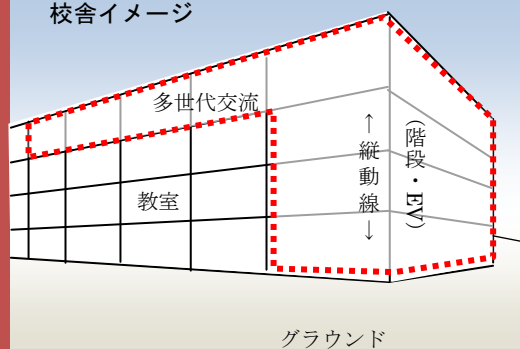
資料 4

(8) A 小学校の場合のイメージ

現況



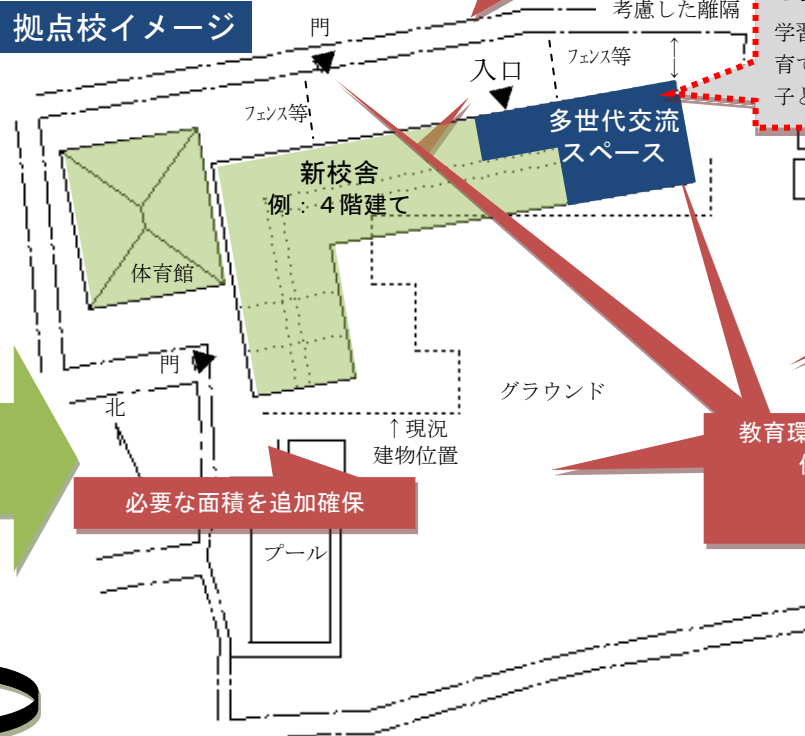
校舎イメージ



新たに配置レイアウト

建替え等にあわせて、整備する建物を、
・校舎と一体化
・体育館と一体化 など、敷地などの状況に応じてその都度、整備内容を検討します。なお、動線を工夫すれば、1階への設置に限りません。

拠点校イメージ



建替え等にあわせて整備

	延床面積
現況	約 6500 m ²
拠点校化後イメージ	約 8500 m ² ～

(平成 28 年 8 月 31 日時点資料)

(9) 資料等

●各地域の拠点校選考の検討についての表中「用途地域等」の記載について

- ・一低：第一種低層住居専用地域、一中高：第一種中高層住居専用地域、一住：第一種住居地域、二住：第二種住居地域、準住：準住居地域〔右側記載の数字は容積率/建ぺい率〕
- ・風致：第二種風致地区（建築物の高さ制限：8m）、三種風致：第三種風致地区（建築物の高さ制限：10m）、景観：景観地区（建築物の高さ制限：15m）、高度：高度地区（建築物の高さ制限：15m）、歴風：歴史的風土保存区域、歴風特：歴史的風土特別保存地区

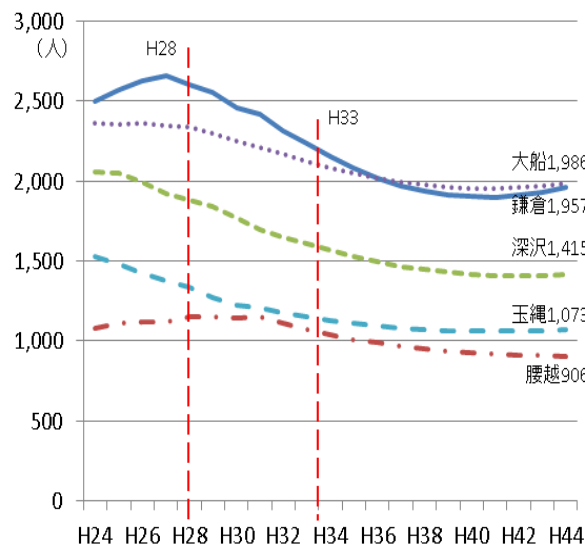
●各地域の拠点校選考の検討についての表中「容積率」の評価について

- ・余裕あり：現在の学校規模に複合化により増える床面積（2,000㎡で試算）を考慮しても容積率だけでなく、グラウンド確保等においても余裕が見込める
- ・余裕少ない：余裕ありに比べ、複合化により増える床面積（2,000㎡で試算）は確保が見込めるが、その余裕が少ない
（複合化により増える床面積の確保に充てられる床面積を確保できる余裕の見込みは 3,000㎡未満であり、余裕が少ない）
- ・余裕なし：グラウンド等の確保を優先すると、複合化により増える床面積（2,000㎡と想定）は確保が見込み難い

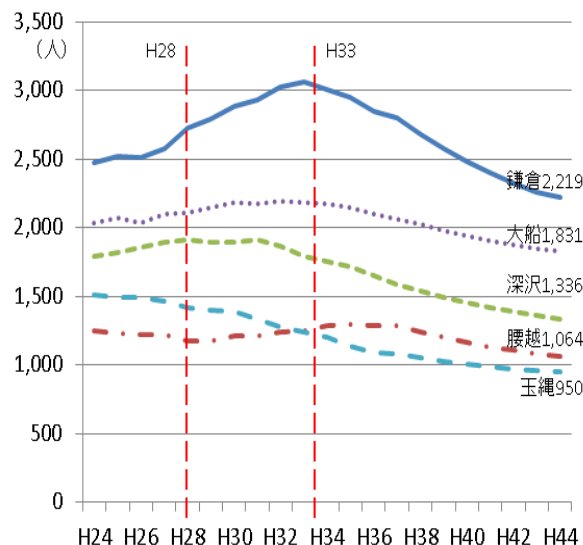
●より長期的な児童・生徒数の動向について（鎌倉市将来人口推計調査報告書（平成 24 年 3 月）のデータより作成）

- ・地域別の将来人口の推計結果の比較（私立学校の児童・生徒等も含む）

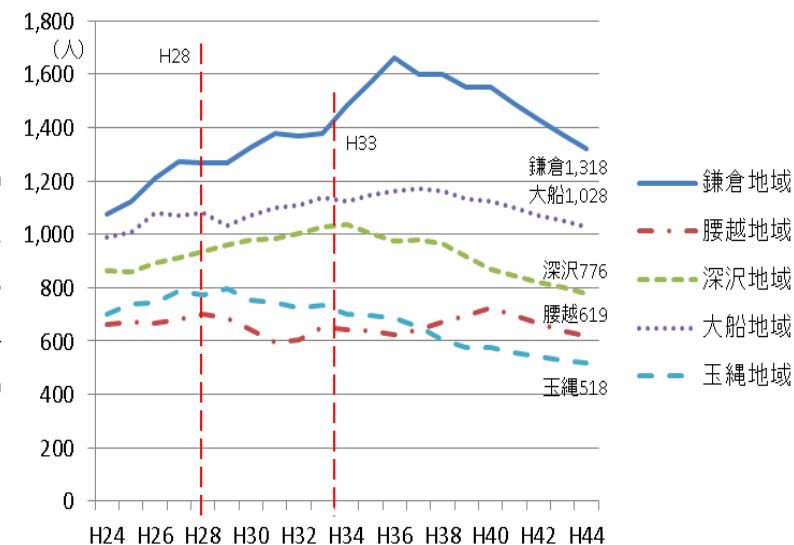
< 幼児人口（0 から 6 才） >



< 児童数（7 から 12 才） >



< 生徒数（13 から 15 才） >



(平成 28 年 8 月 31 日時点資料)